

## 橘小学校 令和5年度 学校評価 集計結果について

向春の候、保護者の皆様には益々ご健勝のことと存じます。本年度もあとわずかとなりました。一年間本校の教育活動に多大なご支援ご協力をいただき、ありがとうございました。

さて、「学校評価アンケート」には、多くの方からご協力いただきありがとうございました。集計いたしましたので、児童の集計結果と合わせてご覧ください。

### 1 アンケート結果の考察

#### (1) 児童の生活に関して

全体的に「よくあてはまる」「あてはまる」と答えた児童が昨年度より減少していることは大きな課題と受け止めています。特に①「学校へ行くのが楽しい」と答えた児童が5%ダウンしています。友達や教師との関係、授業内容の理解、自己有用感、心の居場所など、今一度学級の児童を見つめ直し、魅力ある学校作りに取り組みます。

#### ①「健康・安全な生活と体力の向上」

この観点から②③④⑥の結果をみますと、②「早寝・早起きができている」④「歩いて登校している」の結果がよくありません。「早寝・早起き」のついて保護者の97%が「早寝・早起き」をしていると答えているのに対して、「できている」と答えている児童の割合は72%で児童と保護者に意識のずれが見られました。今後は、生活習慣の改善のため、家庭への啓発と学校での保健指導や体力づくりに力を入れていきたいと思えます。

#### ②「学力向上」

⑤「毎日の宿題を忘れずにできている」⑦「習った漢字の読み・書き、計算や音読ができる」と答えた児童の割合が下がっています。宿題の内容や評価の仕方を工夫したり、「家庭学習の手引き」を分かりやすくしたりして、児童が意欲的に取り組めるようにします。また、⑧「タブレットを使うことで学習が分かりやすい」と答えた児童の割合が79%でした。これは、タブレットはあくまで文具の一つであって、使うだけで授業内容の理解が深まるのではないことを示しています。やはり、大切なのは児童の思考の流れに沿った授業展開、実態に合った教材といった教師の授業の工夫です。「タブレットの活用」は来年度の大きな課題とします。

#### ③「道徳性の向上」

⑨「当番・係活動・そうじを一生懸命している」、⑩「挨拶・返事・ありがとうができている」、⑪「きまりを守って生活している」の結果をみますと、ほぼ90%の児童が「できている」と答えていますが、昨年度より数字は下がっています。どの児童も朝の挨拶や毎日の掃除はたいへんよくできています。家庭でもお手伝いに取り組みせていただくとともに、教師もほめることを繰り返し、児童の自己有用感を高めていきたいと思えます。

### 2 学校運営協議会の実施

これらの結果をもとに、令和6年2月22日（木）に第2回学校運営協議会を開催し、委員の皆様からこのような意見をいただきました。

- 学校は「がんばらない勇気」「やめる勇気」をもって働き方改革に取り組んでほしい。
- 児童の読書意欲を高めるため、静かに読書できる環境として独立した図書室増築を要望してはどうか。
- 歩いて登校することは、一生を通じての基礎・基本となるので引き続き推奨してほしい。
- 通学路は危険箇所が多く、保護者が児童を車で送迎する理由の一つになっている。来年度の通学路点検で、歩道の拡張など危険箇所を改善してもらおうよう要望をしてほしい。

### 3 今後の取り組みについて（課題）

- 将来の夢を意識させ、具体的な目標を設定して、主体的に学ぶ児童を育成するため、児童に寄り添い学習を支援します。あわせて地域で活躍する人や様々な分野で活躍する人とのふれあいを創出するキャリア教育に取り組みます。
- 人権教育を深化させ、自他の命と人権を大切にすることを児童の育成に取り組みます。
- 来年度創立150周年を迎えるにあたり、地域の人・もの・ことを生かした「ふるさと学習」を推進し、児童の郷土愛を高めます。
- 異学年交流を活性化し、いじめのない仲間作りを推進するとともに、外遊びの魅力化をはかり、児童の体力向上を図ります。
- 地域と連携した交通安全指導・防災教育をさらに推進し、児童の命を守るとともに、災害発生時に自分で判断して自分の命を守る判断力・実践力を児童に育ててまいります。